


☀️ 太陽と月のカレンダー 🌙

※日の出・日の入りは八王子での時刻です。

日付 (曜日) 日の出 月の形 日の入	1 (火)	2 (水)	3 (木)	4 (金)	5 (土)	6 (日)	7 (月)
▼情報 天文現象 暦(こよみ)	04:25 18:54 夜明け前、 土星、月、 木星が並ぶ	04:25 18:55 下弦 夜明け前、 月と木星が 接近	04:25 18:56	04:24 18:56	04:24 18:57 芒種 (太陽 の黄経が75° になる)	04:24 18:57	04:24 18:58
	8 (火)	9 (水)	10 (木)	11 (金)	12 (土)	13 (日)	14 (月)
	04:24 18:58	04:23 18:59 新月	04:23 18:59	04:23 19:00 ☆入梅(太陽 の黄経が80° になる)	04:23 19:00 夕方の西の 空で月と金 星が接近	04:23 19:01 月と火星が接 近	04:23 19:01 月と火星が接 近
	15 (火)	16 (水)	17 (木)	18 (金)	19 (土)	20 (日)	21 (月)
	04:23 19:01	04:23 19:02	04:23 19:02 上弦	04:24 19:02	04:24 19:03	04:24 19:03 夏至 (太陽 の黄経が90° になる)	04:24 19:03
	22 (火)	23 (水)	24 (木)	25 (金)	26 (土)	27 (日)	28 (月)
	04:24 19:03	04:25 19:03	04:25 19:04 満月	04:25 19:04	04:25 19:04	04:26 19:04 夜明け前、月 と土星が接近	04:26 19:04 夜明け前、 土星、月、 木星が並ぶ
	29 (火)	30 (水)	☆入梅(にゅうばい) 雑節のひとつ。梅雨が始まる頃とされています。 「雑節」は、日本独自の季節の節目のことです。生活や農作業に照らし 合わせて作られました。節分や八十八夜も雑節のひとつです。 入梅は、旧暦(昔のカレンダー)の頃は芒種から数えて最初の壬(みず のえ)の日とされていました。現在の暦では太陽の黄経が80度に達 した日とされ、だいたい6月11日頃がその日に当たります。 なお、実際の「梅雨入り」とは異なります。				
	04:26 19:04 夜明け前、 月と木星が 接近	04:27 19:04					

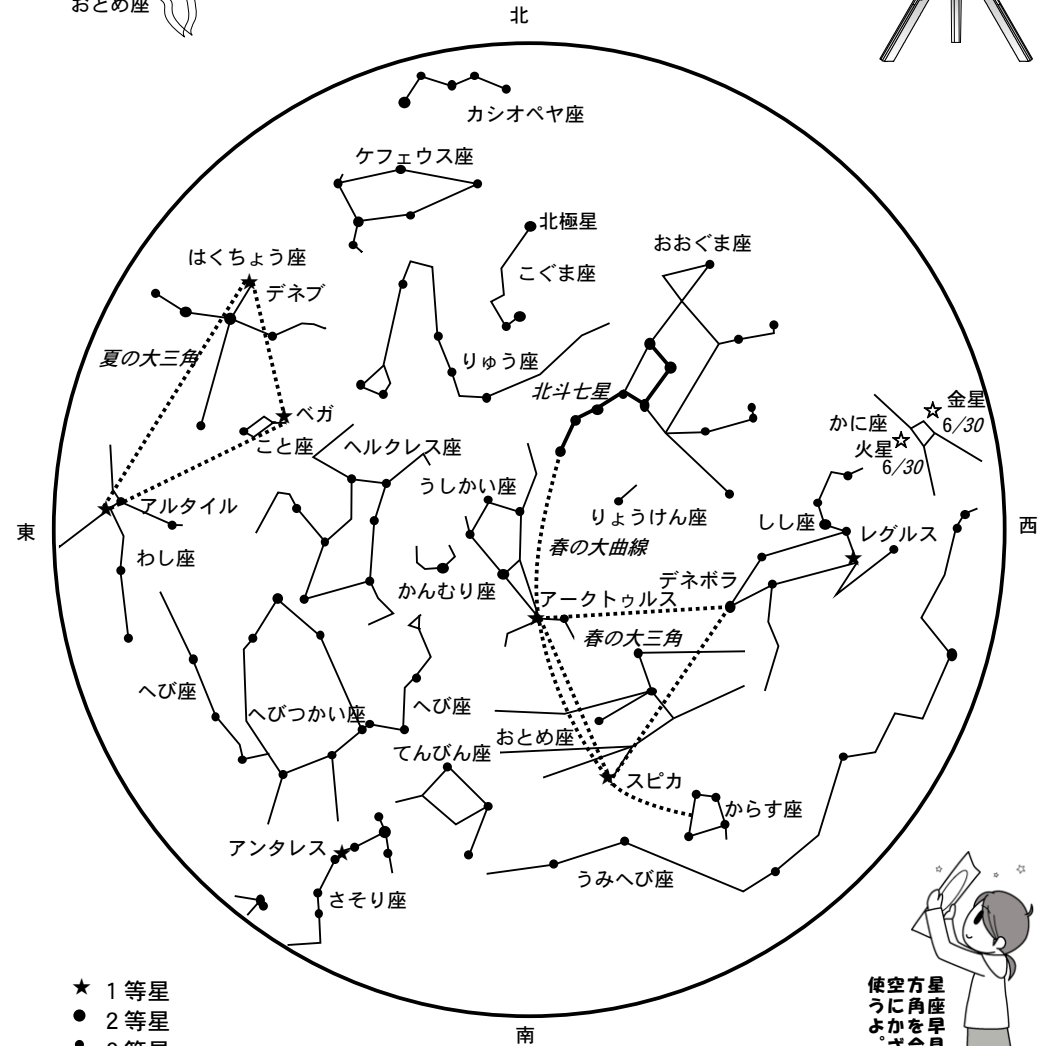
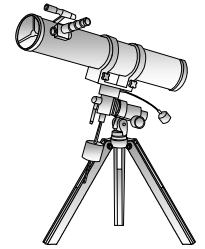


おとめ座

★かんたん星座早見★

6月

(月は描いてありません)



- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星
- ☆ 惑星



使空 方座
うに角
よか早
が合見
ざは
して
せて

6月1日午後9時00分頃 6月15日午後8時00分頃 6月30日午後7時00分頃



二十四節気とは、太陽暦(月のみちかけの周期を1か月とする暦法。旧暦。)を使用していた時代は暦と季節が
少しずれるので、季節とずれない目印として考え出されました。春分や夏至などを基準に1年を24等分し、
区切りの日に名前をつけたものです。現在でも季節の節目に、これを示す言葉として使われています。

芒種(ぼうしゅ)…稲の穂先のように芒(とげのようなもの)のある穀物の種まきをする頃という意味ですが、
現在の種まきはだいぶ早まっています。西日本では梅雨に入る頃。
夏至(げし)…一年で一番昼が長い時期ですが、日本の大部分は梅雨の時期で、あまり実感できません。
花しょうぶや紫陽花などの雨の似合う花が咲く季節です。

りゅう座と、めぐる北極星

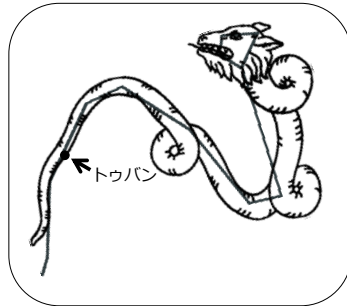


大きな竜が北極星をかこむように北の空に横たわっています。一年中見えていますが、見ごろは太陽が沈んだ後に真北に上る初夏～夏です。ただし、あまり明るい星がないので、八王子で探すのは難しいかもしれません。

ギリシャ神話では、ヘスペリデスの園で大神ゼウスが大切にしていた黄金のりんごの木を守る番人をしていて、竜だと言われています。眠らない竜として番人を任されていたが、疲れて居眠(いねむ)りをしていたすきに、りんごを奪(うば)われてしまいます。

北極星は交代制

りゅう座には、「トゥバン」という名前の四等星があります。八王子では肉眼で探すのが難しい目立たない星ですが、トゥバンは約5,000年前、「北極星」として輝いていました。エジプトでピラミッドが建設されていた時代、日本だと縄文時代の頃です。エジプトでは、その時代に北極星を観測していた記録が残っていて、当時から、北極星が人々にとって大事な存在だったことがわかります。

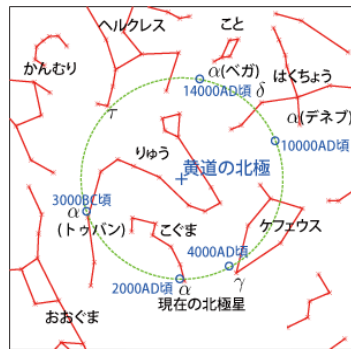


地軸(自転軸)を北側へ延長した方向にある星を「北極星」と呼んでいます。

地球の地軸は23.4度傾(かたむ)いていて、26,000年の周期でコマのように首振り運動をしています。「歳差(さいさ)運動」と言いますが、そのために、北極星を担(にな)う星は年月とともに変わっていきます。

現在、こぐま座アルファ星「ポラリス」が北極星を担っていますが、12,000年後には、こと座の一等星「ベガ」が北極星となります。

ちなみに、地軸(自転軸)を南側へ延長した方向には南極星の役割を果たすほどの明るい星がないため、「南極星」と呼んでいる星はありません。



自転軸の向く方向は約26,000年の周期で変わります。

©国立天文台



★6月のプラネタリウム情報★

土日のプラネタリウムはオンラインでの事前申込制です。



しまじろうとおつきさまのひみつ		※事前申込制
■投影時間 6/5(土)、毎週(日) 10:30~11:15 ※後半は解説員による今夜の星のおはなし(10分程度)	ガオガオさんのふしぎ堂へ天体観察に集まったしまじろう、みみりん、とりっぴい、にゃっさい。ところが、ガオガオさんが発明した望遠鏡が飛んでいってしまいます。望遠鏡を探しにいったしまじろうたちは、迷子の月の妖精ルナに出会います。果たしてしまじろうたちは無事にルナを月へ送り届けられることができるのでしょうか？	

学習番組「小学4年生理科学習番組(星の明るさや色・星や月の動き)」		※事前申込制
■投影時間 6/12~7/24 毎週(土) 10:30~11:25	理科の教科書に沿った番組です。いつもは平日学校団体向けに公開している学習番組です。※今夜の星空解説はありません。また、アニメ番組ではありません。	

ポケットモンスター オーロラからのメッセージ		※事前申込制
■投影時間 毎週(土)(日) 13:30~14:20 ※前半は解説員による今夜の星空解説	オーロラポケモンと呼(よ)ばれる伝説(でんせつ)のポケモン、スイクンの調査(ちょうさ)をする為(ため)、オーロラビレッジへとやってきたサトシとゴウ。オーロラ研究者(けんきゅうしゃ)を父(ちち)に持(も)つ少女(しょうじょ)エマとともに、伝説(でんせつ)のポケモンスイクンに出会(であ)うための冒険(ぼうけん)へ！	

銀河鉄道の夜		※水~金・当日先着順 土、日:事前申込制
■投影時間 毎週(水)~(金) 14:00~14:50 毎週(土)、6/20,27(日) 15:30~16:20 ※前半は解説員による今夜の星空解説	宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」の幻想世界を、徹底考察し鮮明に再現。プラネタリウムのドームいっぱい360度に広がる銀河のパノラマ風景をお楽しみいただけます。さあ、星めぐりの旅にでかけよう。	

★毎月第2日曜日★	生解説プラネタリウム「夏の星空散歩」	※事前申込制
■投影時間 6/13(日) 15:30~16:20	決まったテーマはなく、見ごろの星や星座、惑星、天文現象などについてプラネタリウム解説員が時間いっぱいご案内します。星空の解説をたつぱりと楽しみたい方にお勧めです。	

★毎月第4日曜日★	全編生解説プラネタリウム「ハワイの星空と南十字星」	※事前申込制
■投影時間 6/27(日) 15:30~16:20 ※前半は今夜の星空解説	テーマに沿ってお話しする生解説プラネタリウムです。太平洋のほぼ中心に位置するハワイでは、どのような星空が見えるのでしょうか。また、ハワイ島のマウナケア山頂には日本の「すばる望遠鏡」があります。今回はハワイで撮影した写真などととも、すばる望遠鏡やハワイで見られる星や星座についてご紹介します。	